

第3・4学年 算数科学習活動案

日時：平成17年10月7日 第3校時
 場所：高根小学校3・4年教室
 授業者：稲垣 洋志

4. 本時のねらい

3年生 あまりのある除法を適用し問題場面に即してあまりの処理のしかたを考え、問題を解決することができる。
 4年生 何十や何百何十などを何十でわる計算のしかたを考え正しく計算できる。

5. 本時の展開

1. 単元名

3年生『あまりのあるわりざん』4年生『2けたでわる計算』

2. 単元について

3年生『あまりのあるわりざん』

- ・除法については、1学期にわり算の学習を行っている。本単元ではそこでの学習を受け、あまりのある除法を扱っていく。ここでは、除法の意味から「あまりは、いつもわる数より小さくなるように」することをしっかりとつかませる。そのうえで、答えの確かめの方法や、あまりの処理の仕方を理解させていく。

4年生『わり算の筆算』

- ・2位数÷2位数、3位数÷2位数の計算原理を理解しそれらの筆算ができるようにするとともに、除法に関する性質を理解し、それを活用できるようにしていく。ここでは、除法の意味の理解をより深め、除法の筆算がより確実にできる能力を伸ばすことにねらいがある。除数が1位数では乗法九九によりすぐ商を見つけることができるが、2位数では除数の概数をとって商の見当をつけ、見当をつけた仮商から正しい商を見つけるために、必要に応じて商の修正をしていかなければならない。そのために、学習のステップを細かくし、着実に積み重ねていくようにしている。

3. 研究との関わりについて

①指導援助のあり方

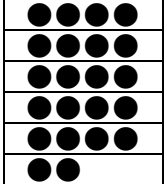
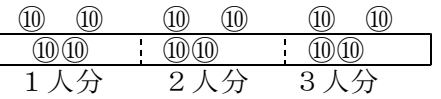
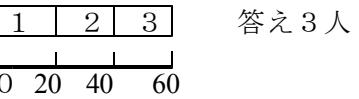
1時間の学習の流れをフラッシュカードに書き授業の流れの見通しを持たせている。また、課題作りの時には、どちらの学年にもつけるよう、ずらしを意識している。

②学習活動の工夫

交流活動において、全員が活躍できるように、全員発表させるとともに、自分とどこが同じかどこが違うのかを考えながら仲間の考えを聞かせるように指導にあたっている。

③学習集団の工夫

学習リーダーを中心に自分たちで学習を進めていく力をつけるために、学習リーダーを輪番制にし、どの児童も授業を進められるように取り組んでいる。また、練り合いのある話し合い活動にするために、交流場面ではつなぎ意見・反対意見・質問と友だちの意見を聞きながら、同じ部分・違う部分・聞いてみたいことを明確にし発表する場を設けている。

	子どもの学習活動（3年生）	教師の指導	子どもの学習活動（4年生）
つかむ	<p>○問題をノートに書く。 「4人ずつベンチに座ります。高根小全校22人がすわるには、ベンチは何こあればいいでしょう」</p> <p>○問題を読み、課題を話し合う。課題をノートに書く。</p>	<p>← 絵を用いて問題場면을明確にとらえさせる</p>	<p>○問題をノートに書く。 「60まいのおり紙を1人に20まいずつ分けます。何人に分けられるでしょう。」</p> <p>○問題を読み、課題を話し合う。</p>
ふかめる	<p>ベンチが何個あればいいのか、考えよう。</p> <p>○課題を読み、自分の考えをノートに書く。</p>  <p>1こ 2こ 3こ 4こ 5こ 6こ</p> <p>$22 \div 4 = 5$ 残り 2 答え 5こ</p> <p>・5こでは、残りの2人が座れないから6こいるのではないか。</p> <p>・$22 \div 4 = 5$ 残り 2 $5 + 1 = 6$ 答え 6こ</p>	<p>← 課題づくりの助言をする。</p> <p>← 自分の考えを持ってきているかを見ながら助言・援助する。</p> <p>← つまずいている子どもには図とつなげて考えさせるためにヒントカードを準備する</p> <p>まず共通の考えとして、具体物を操作させて、考えをつくらせる。</p> <p>← それぞれ全員の考えを発表</p> <p>← 自分の考えと比べながら交流しているか助言・援助する。</p>	<p>何十÷何十の計算の仕方を考えよう。</p> <p>○課題を読み、自分の考えをノートに書く。 (ア) 具体物で</p>  <p>1人分 2人分 3人分</p> <p>(イ) テープ図で</p>  <p>答え 3人</p>
まとめる	<p>○友だちと自分の考えを交流し合い同じ考えや違う考えを見つける。</p> <p>○まとめ あまりのあるわり算は、問題の意味を考えてあまりの分をたしたりして答えを求める。</p> <p>○練習問題をやる。</p>	<p>← まとめをする。 まとめの助言をする。 ノートに書くように言う。</p> <p>← 本時の学習が理解できている確認する。</p>	<p>(ウ) 式で ・10をひとまとまりで考えると60は10が6つ。 $6 \div 2 = 3$ 答え 3人</p> <p>○友だちと自分の考えを交流し合い同じ考えや違う考えを見つける。</p> <p>○まとめ 10をひとつのまとまりとして考え計算していけばよい</p> <p>○練習問題をやる。</p>